

環境保全型農業を目指す

自然と農業

No.86

季刊

2017/8

創刊平成8年

環境保全型農業直接支払交付金
実施面積は14%増加、
有機農業は9%増加

Eco-Agriculture Magazine
“The Environment and Agriculture”



2017年7月28～30日、東京国際フォーラムで開催された「第2回オーガニックライフスタイルEXPO」

- 有機JAS認定圃場面積は1万ha前後で横ばい
—平成28年度『食料・農業・農村白書』—
- 地方の現場から④ 龍の棲む処 かつらぎ町天野
- オーガニックコラム⑳ 有機JAS規格とオリパラ調達基準要求事項との相違
- 生産者を訪ねて 京都府・亀岡市 ファーザーズファーム 伊藤博隆さん
- 消費者との接点・小売りはこう見る 兵庫県芦屋市 グッドローカルマーケットCA
- Think about organic movements
タイにおける有機農産物の生産状況／タイ 持続可能なパーム油に対する認証制度／イギリス
拡大するフランス有機食品市場／フランス 農作物の安心・安全を普及／バングラデシュ
拡大するEUのオーガニック牛乳市場／EU、フランス

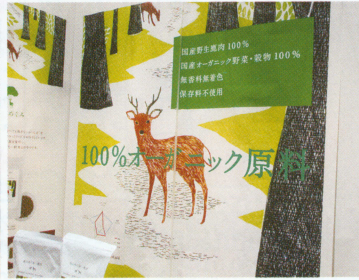


木香書房
1924年(大正13年)創立



第2回オーガニックライフスタイルEXPO開催

持続可能な暮らしのあり方を提案



▲会場の中心に設けられたビアスタンドでは、オーガニック生ビールが早々に売り切れとなっていた

第二回オーガニックライフスタイルEXPOが、七月二十八〜三十日に東京国際フォーラムで開催された。前回より規模を拡大し、二十八日のオーガニックバイヤーズミーティングおよびオーガニックフौरラムシンポジウム、二十九〜三十日のEXPO展示販売商談会を合わせて、来場者数は二万二、九九二人に上った。「オーガニック3・0」を推進する「持続可能な開発目標SDGsの実現に向けて」をテーマとし、主催者テーマゾーンとして、新規就農者応援ゾーン、アニマルウェルフェアゾーン、キッチンガーデン／家庭菜園ゾーンが設けられた（SDGs：Sustainable Development Goals／国連）。暮らしのあり方が持続可能なものとなるよう、手に取れる商品が展覧され、会場はそれらを購入する多くの来場者でにぎわった。